

# 第6回 精神神経内分泌免疫学 PNEI研究集会

## 1. 日程

2007年6月23日(土) 13:00~17:30

受付 12:30~

## 2. 会場

名古屋大学 東山キャンパス 文系総合館・高等研究センター内 **「文系総合館カンファレンスホール(7F)」(キャンパス地図 67番)**

キャンパス地図: [http://www.nagoya-u.ac.jp/camp/map\\_higashiyama/higashiyama\\_west.html](http://www.nagoya-u.ac.jp/camp/map_higashiyama/higashiyama_west.html)

## 3. 主催

精神神経内分泌免疫学研究会

## 4. 代表

大平英樹 名古屋大学大学院環境学研究科

## 5. アクセス

地下鉄(東山線あるいは鶴舞線) ★名古屋駅からは東山線が便利です。

地下鉄東山線の場合 「本山」 駅下車 名城線乗り換え 「名古屋大学」 駅下車

地下鉄鶴舞線の場合 「八事」 駅下車 名城線乗り換え 「名古屋大学」 駅下車

★地下鉄「名古屋大学」 **駅1番出口**(「2. 会場」に提示したキャンパス地図を確認してください。)

## 6. プログラム

### あいさつ 13:00-13:10

大平英樹 名古屋大学大学院環境学研究科

### 研究発表(5題) 13:10-17:30

#### 〈演題1 13:10-13:50〉

【演題】「過敏性腸症候群の脳腸相関に関する研究」

【講演者】○金澤太茂<sup>1</sup>、小長谷敏浩<sup>1</sup>、今村祐志<sup>1</sup>、金山範明<sup>2</sup>、松永昌宏<sup>12</sup>、大平英樹<sup>2</sup>、福山誠介<sup>3</sup>、篠田淳<sup>3</sup>、野村理朗<sup>4</sup>、野木森剛<sup>5</sup>、金子宏<sup>6</sup>、各務伸一<sup>1</sup>

1 愛知医科大学医学部内科学講座(消化器内科)、2 名古屋大学大学院環境学研究科、

3 木澤記念病院中部療護センター、4 東海女子大学人間関係学部心理学科、

5 愛知県厚生農業協同組合連合会昭和病院内科、6 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院神経内科

## 〈演題 2 13:50-14:30〉

【演題】「高齢女性地域住民における抑うつ症状・生活への満足度と NK 細胞活性・NK 細胞数の関連性」

【講演者】坪井宏仁 三重大学大学院医学研究科ゲノム再生医学講座発生再生医学分野

## 〈演題 3 14:30-15:10〉

【演題】「短期ストレス課題に対する唾液中の生体内分泌物質の動態」

【発表者】野村収作 島根大学総合理工学部

【要旨】本研究では短期ストレス課題に対する唾液中の 5 種類の物質 (Amylase, IgA, Cortisol, DHEA, hCgA) の応答を時系列に沿って、また同時に評価した。その結果、標記物質それぞれに対し、1) 短期ストレス課題に対する応答が異なること、2) インターバルをはさみ繰り返される課題に対して積算的な応答を示す事などが示された。これまで生体内分泌物質の詳しい時間的推移は直接示された事が無く、現在の PNEI 研究における課題の一つであるが、本研究はその指標的な研究となりうると考えられる。発表時は脳波・心拍・顔面温度などの神経系指標の動態とあわせて考察する予定である。

## 休憩 15:10-15:30

## 〈演題 4 15:30-16:10〉

【演題】「妊娠期の母親のストレスが新生児に及ぼす影響 —唾液中コルチゾール値によるストレス評価と出生時週数・出生体重との関連—」

【発表者】永岑光恵 国立精神・神経センター精神保健研究所成人精神保健部

## 〈演題 5 16:10-16:50〉

【演題】「実験的疲労モデルを用いた精神神経内分泌学的検討」

【発表者】○ 福田 早苗<sup>1,2</sup>、田中雅彰<sup>1</sup>、水野敬<sup>1,2</sup>、渡辺恭良<sup>1</sup>

1 大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学

2 JST・RISTEX

【要旨】疲労は、ストレスが継続した状態、また、疲労状態は、作業パフォーマンスや注意・集中の低下であると定義されるが、ストレスとの相違点、類似点について問われることが多いものの、その実態は明らかでない。本研究では、男子大学生非喫煙者 44 名を対象にワーキングメモリー (WM) 課題の連続負荷により疲労状態を作成し、その内分泌 (唾液中  $\alpha$  アミラーゼ活性、コルチゾール) ・生理学 (心拍など) ・心理的指標の変化、パフォーマンス能力 (WM 課題) の変化を測定し、ストレス負荷時の変化と比較を試みるとともに、その要因の相互作用についても検討したので、疲労調査研究から明らかになったことも含めて、報告する。

## あいさつ 16:50-17:00

大平英樹 名古屋大学大学院環境学研究科

## 7. 懇親会

時間： 18：30 から 2 時間程度

場所： イタリアンレストラン MACCARONI 名古屋

<http://r.gnavi.co.jp/n074401/>

会費： 有職者 5000 円 学生 3000 円（予定）

※座席予約のため、懇親会への参加を希望される方は 6月15日（金） までに木村（名古屋大学）にご連絡ください。

## 8. 連絡先

懇親会参加希に関して

木村健太（名古屋大学）

[kenta1399057@hotmail.com](mailto:kenta1399057@hotmail.com)

PNEI 研究会に関して

磯和勅子（三重県立看護大学）

[tokiko.isowa@mcn.ac.jp](mailto:tokiko.isowa@mcn.ac.jp)